



新鉱物発見！

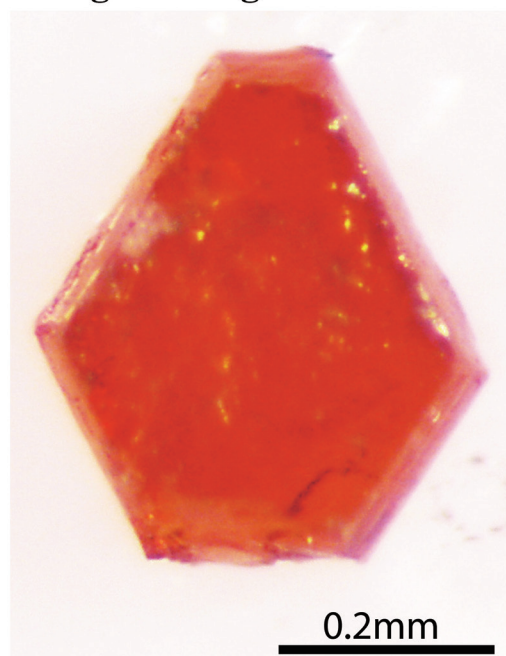
第50次南極地域観測隊「セール・ロンダーネ山地地学調査隊」が、2009年1月に野外調査で採取した岩石から新種の鉱物を発見し「ヘグボマイト類」の一種の新鉱物として国際鉱物学連合に認定されました。日本の観測隊が、南極大陸を構成する岩石中から新鉱物を発見したのは初めてのことです。

新鉱物とは、自然界で新しく発見された鉱物のことです。現在、鉱物の種類は約4,500種類が見つかり、毎年60～80種類が新たに新鉱物として追加されています。

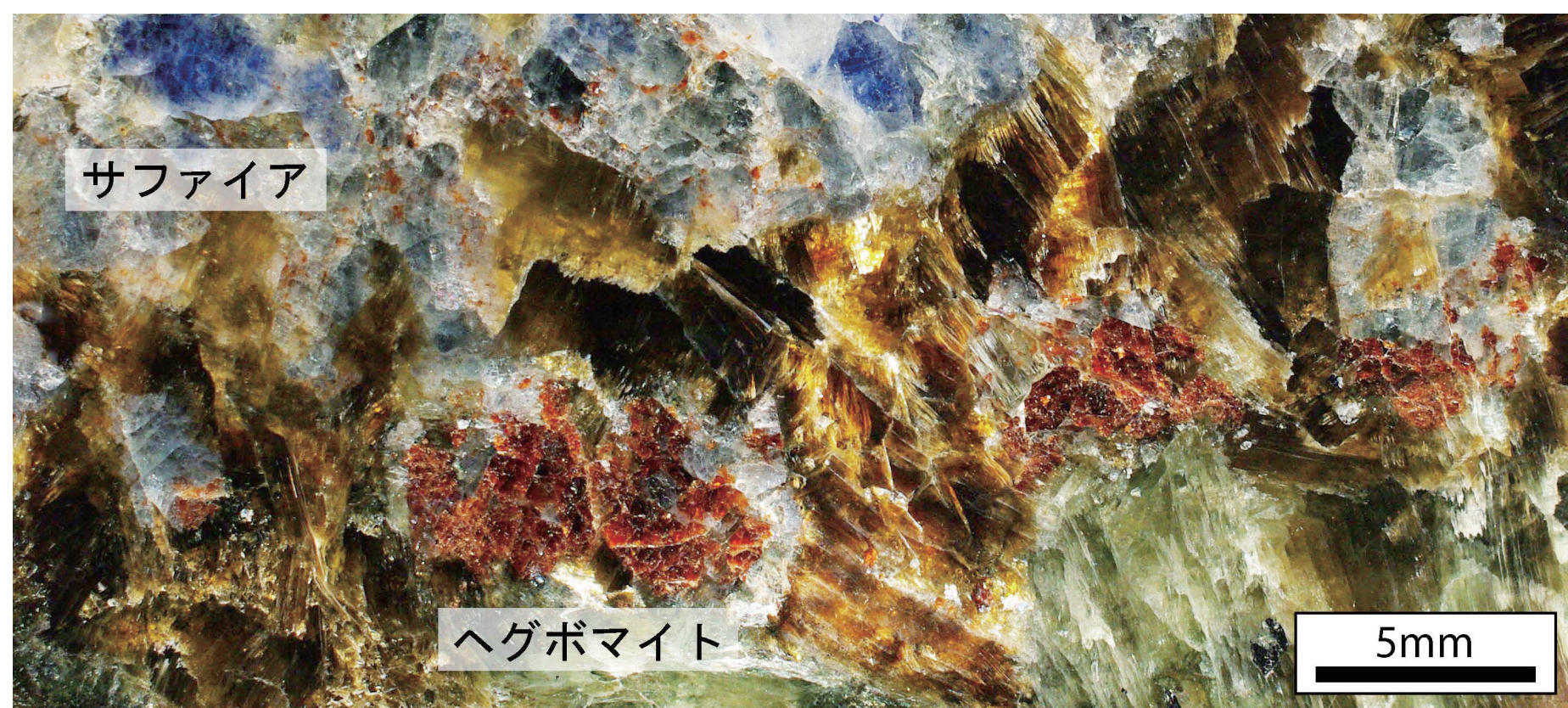
新鉱物マグネシオヘグボマイト-2N4Sとは？

ヘグボマイト類は、六方晶系あるいは三方晶系の希少な酸化鉱物です。化学組成・結晶構造・成因などの解明が大変難しい鉱物で、今までわからないことが多かったのですが、マグネシオヘグボマイト-2N4Sは、極めて高精度で分析することができました。この発見から、岩石学・鉱物学の飛躍的発展が期待されています。

マグネシオヘグボマイト-2N4S
Magnesiohögbohmite-2N4S



【マグネシオヘグボマイト-2N4Sの単結晶】



新鉱物は、セール・ロンダーネ山地にある岩石の中から発見されたんだよ。



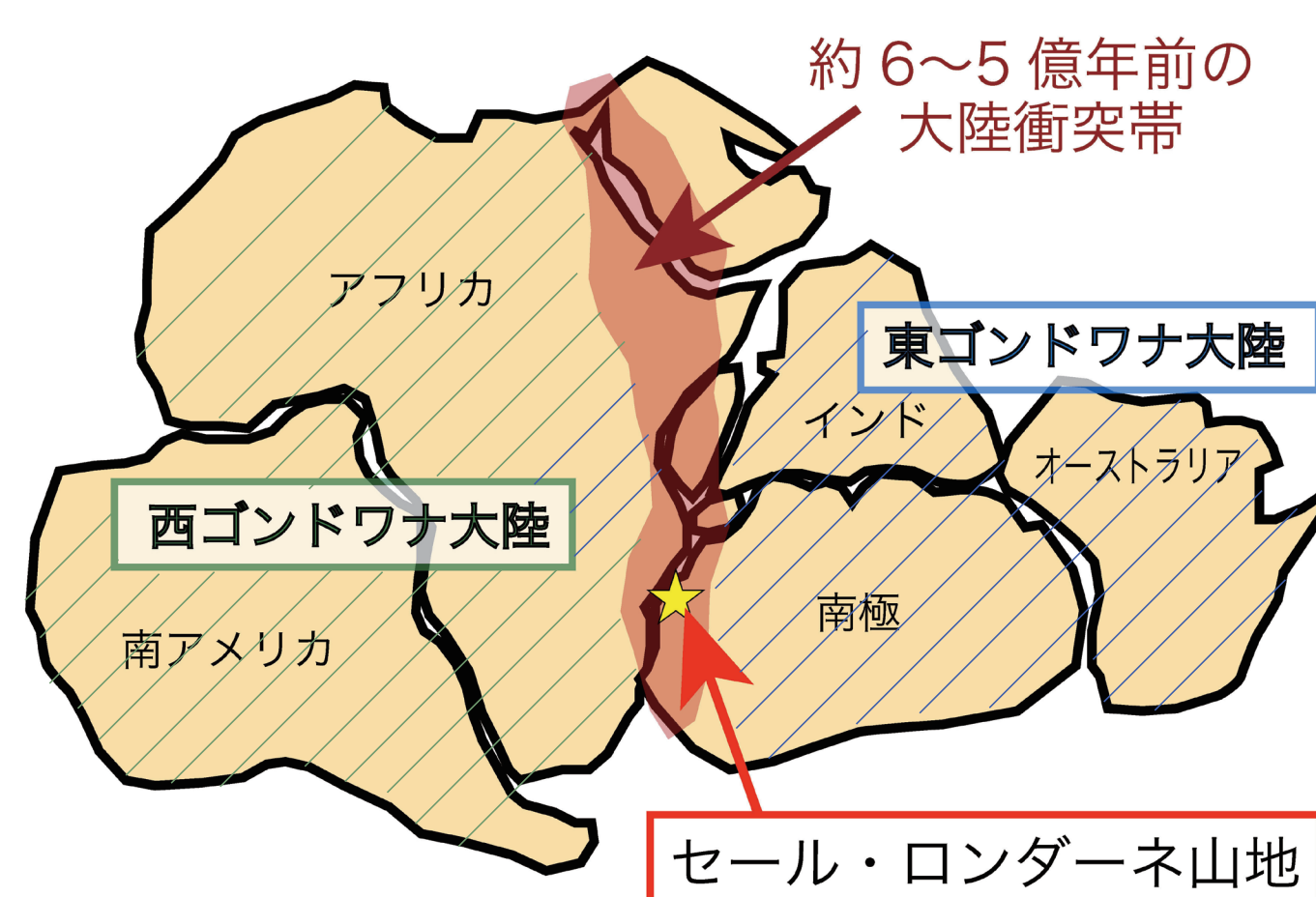
新鉱物が発見されたセール・ロンダーネ山地は、昭和基地の西方約600kmに位置しています。岩石の種類はほとんどが変成岩です。

周辺の地質などを総合して考えると、この新鉱物は約5億2千万年前ごろにできたものと考えられます。これは、西 Gondwana と東 Gondwana の2つの大陸の衝突によって、超大陸 Gondwana ができた後の時期にあたります。

この新鉱物の発見と解析結果は、2つの大陸の衝突、そして超大陸 Gondwana の分裂を探る重要な手がかりとなるのです。



【セール・ロンダーネ山地（新鉱物発見地点付近）】



【超大陸 Gondwana の復元図】